

大连理工大学2006年度教学改革基金课题重点项目

新 综 合 日 本 语

基础日语

大连理工大学外国语学院日语系 组织编写

总主编：李筱平

主 编：孙莲花

副主编：孔 月 赵立红 李 捷

第4册

大连理工大学出版社

大连理工大学2006年度教学改革基金课题重点项目

新 综 合 日 本 语

基础日语

第4册

大连理工大学外国语学院日语系 组织编写

总主编：李筱平

主 编：孙莲花

副主编：孔 月 赵立红 李 捷

编 者：孔 月 孙莲花 由志慎 李 捷 李筱平

吴世兰 赵立红 王 冲 王玉明 王 健

孙成志 李 贞 张北林 孟庆荣 周桂香

林乐清 闻 艺 唐晓煜

校 对：香月真由美

图书在版编目(CIP)数据

基础日语. 第4册 / 孙莲花主编. —大连: 大连理工大学出版社, 2010.2
(新综合日本语)
ISBN 978-7-5611-5373-4

I. ①基… II. ①孙… III. ①日语—高等学校—教材
IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 020971 号

大连理工大学出版社出版

地址: 大连市软件园路 80 号 邮政编码: 116023

发行: 0411-84708842 传真: 0411-84701466 邮购: 0411-84703636

E-mail: dutp@dutp.cn URL: <http://www.dutp.cn>

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸: 185mm×260mm	印张: 19.75	字数: 455 千字
附件: 光盘 1 张		印数: 1~3000
2010 年 2 月第 1 版		2010 年 2 月第 1 次印刷

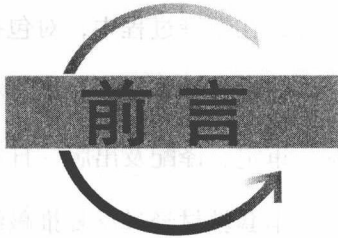
责任编辑: 宋锦绣

责任校对: 刘诗洋

封面设计: 李 雷

ISBN 978-7-5611-5373-4

定 价: 37.00 元



前言

随着国际化社会的到来和经济全球化的不断深入,中日两国间相互交流的领域空前扩大,交流的频度史无前例。在这一大背景下,社会对日语专业人才的需求也发生了新的变化。由于中日两国人员经贸和科技面对面交流机会的增多,社会急需既具备日语专业的语言能力,又具有用日语理解文理科技内容的能力,还要具备跨文化交际能力的高水平日语专业应用型人才。

为适应社会的新需求,20世纪末,以培养复合型日语专业人才为目的,在全国理工科院校也陆续开设日语专业课程。与此同时,相应的日语专业教材也如雨后春笋般不断面世。然而,当我们全面考察了这些教材后发现,日语专业基础课教材仍突出体现着纯文科专业教材的特点,以培养传统的研究型日语人才为目的。真正将文理知识有效地融合,并且能够充分体现以培养复合型跨文化交际的日语人才为目的的日语专业配套教材尚不多见。这难以满足当今社会对日语人才多元化的需求。

本套日语专业配套教材就是为了填补这一空白,在经过了大量的社会调研和考察后,应社会对日语人才的新需求而编写的。

本教材的最大特点是把日语文理知识进行有效的融会贯通,特别注重沟通和交流中各种场面的设定,体现以学生为主体、师生互动的教学理念。注重在实践中求领会,以实践促理解。立足于培养复合型高水平的日语跨文化交际型人才。

本套教材是大连理工大学2006年度教改基金重点项目。为了保证书稿的质量，大连理工大学外国语学院日语系具有多年教学经验的教学第一线的老师们承担了教材编写的全部任务，在编撰过程中，对包括《新综合日本語基础日语》、《新综合日本語听解日语》、《新综合日本語会话日语》在内的日语专业全套教材进行了反复研讨和修改，并且负责编撰、审定、译配及出版。日本专家、学者承担了主要校正编写任务。

本套教材经过反复推敲编辑而成，尽管如此，仍然有一些需要改善的地方，恳请各位不吝赐教，谨向您致以诚挚的谢意！

李筱平

2008年9月

目 录

前言.....	iii
目录.....	v

第16課

- | | |
|------------|-----------|
| 1. ～がちだ | 2. ～をめぐって |
| 3. ～ならでは | 4. の |
| 5. ～思う | 6. ～を通じて |
| 7. いずれにしても | 8. ～にそって |
| 9. 必ずしも～ない | 10. たかが |

「旅行といつても、…」——ことばの背後に潜む文化や価値観

1

第17課

- | | |
|------------|--------------|
| 1. ～ざるをえない | 2. ～ことなく |
| 3. まるで～ない | 4. ～てみせる |
| 5. ～せい | 6. ～ずにはいられない |
| 7. ～に応じて | 8. ～がたい |

情報時代と情報公害

17

第18課

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. ～ぶる | 2. ～っぽい |
| 3. ～ほうがまだ | 4. ～というもの |
| 5. ～うる | 6. ～ものの |
| 7. ～に面して | 8. ～以来 |
| 9. ～てしょうがない／てしょうがない | 10. ～にしる |
| 11. ～きれない | 12. ～にもまして |
| 13. ～てばかりはいられない | |

日本文化に関する二例

32

第19課

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. ～とばかり | 2. やら |
| 3. 弾み | 4. ～どころではない |
| 5. ～かねる／かねない | 6. ～や否や～ |
| 7. ～ようと | 8. ～に足る／足りない |
| 9. ～ではないだろうか | 10. ～で (は) なくて何だろう |
| 11. ～なくして (は) | |

ミエと指輪と夜
光虫

50

第20課

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. ～そのもの | 2. ～とも |
| 3. ～ては／では | 4. ～ように思われる |
| 5. ～ないですむ／なくてすむ | 6. ～たて |
| 7. ～嫌い | 8. ～というより |
| 9. ～ように (は) | |

数学と社会

67

第21課

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ～にしては | 2. なにやら |
| 3. ～臭い | 4. さすが |
| 5. ～くせに | 6. ～ところを見ると |
| 7. ～よい／いい | 8. ～おかげで |

子供たちの夜

80

第22課

- | | |
|---------------|------------|
| 1. ～というものではない | 2. ～を問わず |
| 3. ～ながら (も) | 4. ～反面 |
| 5. ～に比べて | 6. ～をもとにして |
| 7. ～に至る | |

機械との共存

94

第23課

- | | |
|------------|----------------------|
| 1. ～からには | 2. ～ほかならぬ／ほかならない |
| 3. ～てよい | 4. ～へと |
| 5. ～恐れがある | 6. ～つもりだ |
| 7. ～どころか | 8. ～一方だ |
| 9. ～たところで | 10. ～ではいられない／てはいられない |
| 11. ～ことはない | |

人の寿命と病気

107



第24課

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ～ようがない | 2. ～までもない |
| 3. 要するに | 4. いったん～と |
| 5. そもそも | 6. ～が故に |
| 7. のみ | 8. ～かつ |

神道と仏教の同
時並信

126

第25課

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. ～ときたら | 2. ～にきまっている |
| 3. ～かと思うと | 4. ～ものを |
| 5. ～ものがある | 6. ～すえ (に) / すえの |
| 7. ～にしてみれば | 8. ～のことだから |
| 9. ぜ | 10. どうせ～だから |
| 11. だい | 12. ～う (よう) ではないか |

宇宙との出会い

144

第26課

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. ～ごとき／ごとく | 2. ～であれ |
| 3. ～あげく | 4. ～にたえない／にたえぬ |
| 5. ～を限りに | 6. ～ないことには |
| 7. ～からといって | |

動物たちの嘆き

158

第27課

- | | |
|---------------|------------|
| 1. ～んとする | 2. ～に反して |
| 3. ～のみならず | 4. ～といえども |
| 5. ～しかない | 6. ～とて |
| 7. ～を余儀なくされる | 8. めったに～ない |
| 9. ～ことか／ことだろう | 10. よほど |
| 11. ～に | |

陰影の美

172

第28課

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. ～た途端 (に) | 2. ろくに～ない |
| 3. ～なしでは～ない | 4. ～といっても過言ではない |
| 5. ～なり～なり | 6. ～ものか |
| 7. ～じゃあるまいし／ではあるまいし | 8. ～をもってすれば |
| 9. ～あまり (に) | 10. 仮に～としても |
| 11. ～ばかりに | 12. ～あつての |

コンピューター
夢物語

191

第29課

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. ～に即して | 2. ～だらけ |
| 3. ～をよそに | 4. ～ついでに |
| 5. ～ながら | 6. ぞ |
| 7. ～といい、～といい | 8. ～つつ |
| 9. せめて～なりとも | 10. ～こととて |

顔をなくしたふ
るさと

206

第30課

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. ～ものとする／ものとして | 2. ～というところだ |
| 3. ～いかんで | 4. ～とは限らない／とも限らない |
| 5. ～とあって | 6. ～にして |
| 7. ～を契機に | 8. ～にあっては |
| 9. ～た上で | 10. ～ずにはおかない |
| 11. ～からして | 12. ～始末だ |

猫ばばと死刑

219

附 录

一、参考译文	235
二、练习参考答案	253
三、语法索引	281
四、单词索引	283
五、参考文献	307

「旅行といっても、…」

——ことばの背後に潜む文化や価値観

読む前に

1. 旅行といえば、何を思い出しますか。
2. どんな旅行がしたいですか。
3. 中国の観光地として有名な所はどこだと思いますか。



「文法の授業」「文法の学習」というと、無味乾燥な暗記モノのように思われがちです。しかし、実際の文法の教室では、一つの文の解釈を巡って意見が対立したり、教師が予想もしなかった解釈が生まれたり、その人ならではの新しい文が作られたり、実にダイナミックな活動が行われています。（略）

ここでは、文の背後に潜む文化や価値観について見ていきます。日ごろ私たちが、いかに多くの前提に寄りかかって、ことばを使ったり、解釈したりしているかに気づかれます。

1. 「海外旅行といっても、…」

「といっても」という表現があります。次の文のように使われます。

「中国式ハリ治療」といっても、単に太い針を使う「中国バリ」といった意味だけではありません。戦後中国で生まれた新しい医療の流れ「中西医结合」。それは中国の伝統医学と西洋医学（現代医学）を結び付けた新しい医療。中国のハリ治療は、より現代医学を意識したものに変わりました。（略）

例えば、「中国式ハリ治療」といったことばを聞くと、「太くて長い針」「東洋医学」「ツボ」「痛いかも」…といった内容が、連想ゲームのように次々と頭に浮かびます。「といっても」という表現には、このように頭に浮かんだ連想ゲームの内容を訂正したり、補足説明を加えたりする働きがあります。

2. 予想を裏切る

そのため、特に訂正や補足説明が必要なく、普通に頭に浮かべる内容そのままのときに「といっても」を使うと、次のようにとても奇妙な文になります。

「先週、子供の小学校で運動会がありました。運動会といっても、徒競走や騎馬戦や大玉転がしです。」（…って、ふつうの運動会とどう違うの？）

「私は学生の頃に運転免許をとりました。運転免許といっても、普通自動車です。」

(…って、ふつうは、みんなそうじゃないの?)

聞く側としては、「といっても」の時点で、「おっ、次は訂正や補足説明が続くんだな」と予想し、身構えます。ですから、「といっても」の後ろに、ふつうに頭に浮かべる、当たり前の内容がきたのでは、拍子抜けしてしまうのです。

「といっても」の後ろには、連想が裏切られるような内容が続くと、しっくりきません。例えば、次のような具合です。

「先週、子供の小学校で運動会がありました。運動会といっても、玉入れだけです。」(えっ?、どうして、玉入れしかやらないの?)

「私は学生の頃に運転免許をとりました。運転免許といっても、大型特殊です。」

(へー、いきなり、大型特殊免許!? 気合入ってるなあ。)

このように、「といっても」の文が成立するためには、まず「あることばを聞いて、ふつうに思い浮かべる内容」が前提にあり、さらにその後ろには「それを裏切るような内容」が続くことが必要なのです。(略)

3. 「海外旅行といっても、…」

ある日、学生が一人「質問がある」といって現れました。話を聞いてみると、テレビの対談番組で、ある日本人タレントがこういう発言をしたとのこと。

「海外旅行といっても、ハワイですから…。」

その学生曰く、日本から見れば、ハワイは立派な海外旅行である。それなのに、どうして、「海外旅行といっても」の後ろに「ハワイ」が続くのか分からない、とのことでした。

「海外旅行」ということばから連想されるのは、次のような内容でしょうか。

パスポート、空港、外国、時差、休暇、出張ではない、国内旅行より荷物が多い、日帰りはしない…。

もっともっと他にもたくさん出てきそうです。そして、確かに「ハワイ旅行」は、これらの内容を裏切りませんから、どうして「といっても」の後ろに続くのかと、学生が疑問に思っても、不思議ではありません。しかし、その一方で、「海外旅行といっても、ハワイですから」という発言に、私たちが違和感を覚えないのも事実です。

4. 「ハワイ」といえば…

ここでは、2つのポイントがあります。1つは「観光地としてのハワイ」です。

「海外旅行」ということばから連想される内容には、次のようなものもあります。

海外旅行＝日本語が通じない、英会話、非日常、慣れない食事、日本と違う景色…。

この点から考えると、「ハワイ」には、日本語が通じる店が多く、たくさんの日本人観光客が年間を通じて訪れます。海外旅行の行き先としては、日本人にとって過ごしやすい場所の1つといえます。



それを踏まえて、

「海外旅行に行ったんですか。私、英語がまったくできないから不安で…」

「私も初めてでしたけど、海外旅行といってもハワイですから、日本語が通じるところも多かったし、親切な人が多かったし、大丈夫でしたよ。」

といった話の流れを考えれば、「海外旅行といっても、ハワイですから」という文がぴったり嵌まるようになります。

2つ目は、「タレントの発言」です。

テレビのワイドショーでも取り上げられるように、新年をハワイで過ごすというのは、日本の芸能人にとって、1つの慣例行事になっているようです。そう考えると、海外旅行の行き先としての「ハワイ」は、芸能人にとっては珍しくない、わざわざ話題にするほどでもない、そのような位置づけにあるのかもしれませんが。(略)

5. 何が「ふつう」か

この学生がテレビで耳にしたという「海外旅行といっても、ハワイですから」がどのような流れで出た発言なのかは、分かりません。しかし、いずれにしても、この発言を理解するためには、少なくとも「日本人が『海外旅行』ということばから、ふつう連想するもの」についての一般的な知識が必要で、さらに「観光地としてのハワイ」「日本人タレントにとってのハワイ」といったその場における個別的な情報の助けも借りながら、そのうちの何が裏切られたのかを、話の流れに沿って理解しなければならないのです。

あることばから、何をふつうに連想するかは、実に厄介な問題です。「誰にとってのふつうか」に関わるからです。「日本人にとってのふつう」が、必ずしも「他の国の人にとってのふつう」ではないように、「私にとってもふつう」が「あなたにとってのふつう」ではないからです。

あることばを聞いて「ふつう」に思い浮かべること、ふだんは意識はしませんが、自分と異なる「ふつう」に接したときに、初めて気づくことが多いものです。たかが「文法」、されど「文法」。ことばの背後には、実に多くの文化や価値観が潜んでいます。

(小林ミナ 『外国語として出会う日本語』 岩波書店、一部修正)

新出単語 ①

はいご①[背後]	【名】	背后; 背地, 幕后
ひそむ②[潜む]	【自五】	隐藏, 潜藏; 藏在(心里)
むみかんそう①[無味乾燥]	【形動】	枯燥无味
あんき①[暗記]	【名・他サ】	熟记; 记住; 背, 背诵

〜がち	【接尾】	往往……, 容易……, 好……
めぐる⑩[巡る]	【自五】	围绕; 绕行; 循环; 旋转
たいりつ⑩[対立]	【名・自サ】	对立
ならでは①	【連】	只有……, 除非……
ダイナミック④	【形動】	有力(的), 有生气(的)
よりかかる④[寄りかかる]	【自五】	靠, 依靠; 倚靠; 依赖
はり①[鍼・針]	【名】	针, 刺针; 缝针
ちゅうごくばり⑤[中国針]	【名】	中医针灸
いりょう①⑩[医療]	【名】	医疗, 治疗
ちゅうせいいけつごう⑥[中西医结合]	【名】	中西医结合
でんとう⑩[伝統]	【名】	传统
むすびつける⑤[結び付ける]	【他下一】	结合, 联结; 结上, 结牢
とうよう①[東洋]	【名】	东洋, 东方; 亚洲
つぼ⑩(壺)	【名】	穴位, 穴道; 罐, 坛; 关键部位
れんそう⑩[連想]	【名・他サ】	联想
れんそうゲーム⑤[連想ゲーム]	【名】	联想游戏
ていせい⑩[訂正]	【名・他サ】	订正; 修订; 改正, 更正
ほそく⑩[補足]	【名・他サ】	补充
くわえる⑩③[加える]	【他下一】	加, 加上; 附加, 追加; 加大
はたらき⑩[働き]	【名】	作用, 功能; 功劳; 工作
きみょう①[奇妙]	【形動】	奇妙, 奇怪, 出奇, 奇异
ときょうそう②[徒競走]	【名】	赛跑
きばせん⑩[騎馬戦]	【名】	骑马战
おおだま⑩[大玉]	【名】	大球
ころがし⑩[転がし]	【名】	滚动, 转动; 翻倒
かわ②[側]	【名】	一侧, 一方; 立场; 旁边
じてん①⑩[時点]	【名】	时刻, 时候
おっ①⑩	【感】	噢, 哦
みがまえる④③[身構える]	【自下一】	摆架子, 摆姿势
ひょうしぬけ⑩[拍子抜け]	【名・自サ】	失望, 败兴, 扫兴, 沮丧
しっくり③	【副・自サ】	合适, 符合, 吻合; 融洽
たまいれ③⑩[玉入れ]	【名】	投小布袋(比赛)
とくしゅ⑩①[特殊]	【形動】	特殊, 特别
おおがたとくしゅ⑤[大型特殊]	【名】	大型货车驾照



いきなり①	【名・形動・副】	突然，冷不防；马上就，立刻
おもいうかべる①⑥[思い浮かべる]	【他下一】	想起，忆起
たいだん①[対談]	【名・自サ】	对谈，会谈，对话
タレント①①	【名】	演员，表演者；才能，才干
いわく①[曰く]	【名】	曰，云，说；理由，隐情
じさ①[時差]	【名】	时差；错开时间
きゅうか①[休暇]	【名】	休假
ひがえり①④[日帰り]	【名・自サ】	当天往返
ぎもん①[疑問]	【名】	疑问
いわかん②[違和感]	【名】	不相容的感觉；不协调的感觉
えいかいわ③[英会話]	【名】	英语会话
ゆきさき①[行き先]	【名】	去的地方；目的地
はまる①(嵌まる)	【自五】	恰好合适；套上；陷入，掉进
ワイドショー③④	【名】	大型综合电视节目
げいのうじん③[芸能人]	【名】	演员，艺人
かんれい①[慣例]	【名】	惯例，老规矩
いちづけ①[位置づけ]	【名】	位置，地位
いずれにしても①	【連】	反正，总之，不管怎样
すくなくとも③②[少なくとも]	【副】	至少；最低，最小限度
こべつてき①[個別的]	【形動】	个别的
そう①①[沿う・添う]	【自五】	沿，顺；按照；紧跟
やっかい①[厄介]	【名・形動】	麻烦，难为；照料，照顾
たかが①②	【副】	充其量，不过是
されど①	【接続】	虽然，然而

重要表現

1. 動[連用形①] がちだ 名

表示容易产生某种状态或即使是无意的也容易这样做的意思。常带有一种负面评价的含义。译为“经常……”“带有……倾向”“容易……”。

○ 最近は曇りがちの日が多い。/最近多云的天气比较多。

○ 母は病気がちなので、あまり働けない。/母亲常生病，所以不太能进行体力劳动。

- 田中さんは最近、体調を崩して、日本語のクラスを休みがちだ。/田中最近身体不好，经常不去日语学习班上课。
- 彼女に電話すると、どうしても長電話になりがちで、いつも母に文句を言われる。/一给她打电话，往往话就长了，为此老是受到母亲的训斥。
- A：木村君、このごろ元気がないね。/木村，你最近没有精神啊。
B：子供がよく熱を出すので、どこか悪いのではないかと心配で。/孩子经常发烧，所以我担心是不是哪儿不好。
A：子育てに慣れないうちは、親もあれこれ悩みがちだが、小さな子にはありがちなことだよ。/父母还不适应抚养孩子的时候，常有这样那样的烦恼，但那是小孩子常有的事。

2. 名+をめぐって

以某事为中心，就此展开相关联的事。还有「～をめぐり」、「～をめぐる」、「～をめぐっての」等形式。译为“围绕……”“就……”。

- この法案の賛否をめぐって、活発な議論が交わされた。/围绕是否赞成这项法案，展开了激烈的讨论。
- あの俳優の自殺をめぐって、さまざまなうわさが乱れ飛んだ。/围绕那个演员的自杀，各种传言纷纷扬扬。
- この町の再開発をめぐり、住民が争っている。/围绕这个城市的再开发，居民们在斗争着。
- アパート建設をめぐる争いがようやく解決に向かった。/围绕公寓建设的纠纷，总算要解决了。
- 父親の遺産をめぐっての争いは日増しにひどくなってきた。/围绕父亲遗产的纷争，日趋严重。

3. 名+ならではの

接在表示人物或组织的名词后，对其进行高度的评价。还有「～ならではの」的形式。译为“只有……才会……”“正因为是……才会……”“不是……就不可能……”。

- あの役者ならではの演じられないすばらしい演技だった。/这可是只有那个演员才能表演出的高超演技。
- 当店ならではの素晴らしい料理をお楽しみください。/请您品尝一下本店独家风味的佳肴。
- この祭りは北海道ならではの光景です。/这个节日是只有北海道才有的光景。



- この絵には子供ならではの表せない無邪気さがある。/这幅画里有唯独孩子才能表现出来的天真烂漫。

4. の

语气助词。

(1) 用上升的语调表示发问。用于同孩子以及亲密的人说话时。

- 最近元気がないね。どうしたの?/最近无精打采的, 怎么啦?
 ○ これでほんとうにいいと思うの?/你以为这样就真的行吗?
 ○ A: 花子ちゃんは、何をして遊びたいの?/花子, 你想玩什么?
 B: ピンポン。/乒乓球。
 ○ A: 遊んでばかりいて。試験、本当に大丈夫なの?/老是玩, 考试真的没问题吗?
 B: 心配するなよ。大丈夫。/别操心了, 没问题的。

(2) 用下降的语调。用于孩子及妇女以轻松的语气表示断定。

- A: あのこと、どうだった?/那件事怎么样了?
 B: だめだったの。/不成啦。
 ○ A: もうちょっと早く歩けない?/能不能再走快点儿?
 B: ごめんね。ちょっと足が痛いの。/对不起, 我的脚有点儿疼。
 ○ 渡辺さんは私に腹を立てているみたいなの。/渡边好像是在生我的气。
 ○ A: 明日映画を見に行かない?/明天不去看电影吗?
 B: 残念だけど、明日はほかに用事があるの。/很遗憾, 明天有别的事。

5. 名+に

形[連用形①]

形動[語幹+に]

思う

接在表示心情、感情意义的词后, 表示说话人“有……感受”。

- 小林先生に指導していただけることになって、本当に幸せに思います。/能接受小林老师的指导, 我感到非常幸福。
 ○ お会いできてほんとうに嬉しく思います。/能见到您, 我感到非常高兴。
 ○ バスがなかなか来ないので、不思議に思って聞いてみたら、昨日からダイヤが変わったとのことだった。/公交车老不来, 感到奇怪, 结果一问才知道, 从昨天开始时刻表变了。
 ○ このような賞をいただくことができ、まことに光栄に存じます。/我能获得这一奖项, 感到无尚光荣。

6. 名+を通じて

(1) 接在表示时间的词后, 表示“在某固定时期不间断地一直……”的意思。是书面语。

- あの地方は、1年を通じて雨がが多い。/那个地方一年到头降雨很多。
- 田中さんは一生を通じて中国との友好のために働いた。/田中先生终生都在为同中国的友好而工作。
- この辺りは四季を通じて観光客の絶えることがない。/这一带一年四季游客不断。
- 人類の歴史を通じて、地球のどこかで常に戦争が行われていた。/整个人类进程中, 在地球的某个地方总是发生战争。

(2) 在叙述经由某事物来传达信息或建立关系时使用。传达的是信息、话、联络手段, 但不能使用交通手段。译为“通过……”。

- 木村社長は忙しいから、秘書を通じて頼んだほうがいい。/因为木村社长很忙, 所以最好委托一下秘书。
- 私は父の知人を通じて、この会社に入ることができた。/通过父亲的熟人, 我进了这家公司。
- その話は田中さんを通じて相手にも伝わっているはずだ。/那件事应该已经通过田中传达给对方了。
- 現地の大使館を通じて外務省に入った情報によると、死者は少なくとも300人を超えたそうです。/根据通过当地大使馆传到外务省的消息, 死者至少300人。

7. いずれにしても

用于句子或段落的起始, 表示“虽有各种可能性, 但不管取哪种可能性, 反正都……”的意思。「いずれにしても」的后面为说话者的重点, 表示该事物才是千真万确的。在较郑重的场合, 还可使用「いずれにしろ」「いずれにせよ」。

- いずれにしてももう一度会ってよく話をしましょう。/总之再碰头好好谈谈吧。
- いずれにしても暇だから、一緒に行くよ。/我反正闲着没事, 所以就陪你走一趟吧。
- 田中さんが辞めるのがいいのかどうかは分からないが、いずれにしてもこのまま放っておくわけにはいかない。/我也说不准田中是辞了工作好, 还是不辞工作好, 但不管怎样我们都不能这样放任不管。
- A: ここで昼ごはんを食べましょうか。/我们就在这儿吃午饭吧。
B: そうですね。いずれにしても、どこかで食べておかなきゃならないんだから。/我看行吧。反正也得找地方去吃饭。

8. 名+にそって

接在河流及道路等长长延续的东西或表示按程序以及按说明的操作流程等名词后, 表